

事業のタネシート

活動地域・団体名：福岡県八女・やめスマ研究所

事業名称 1：地域電源を活用したEVシェア事業

あらすじ

- ・2016年時点で年間約53億円のエネルギー資金が地域外に流出しており、電力料金の高騰が騒がれる昨今ではその金額が大いに上昇していることが容易に想像できる。
- ・市内の中心部を除く山間部等で交通インフラの整備が市民の声を含め課題として挙げられている。
- ・大雨や地震等で停電が起こった場合に、山間部地域では市内の何倍も復旧に時間がかかるケースが多々ある。

ストーリー

現状、多額のエネルギー資金が地域外に流出をしており、その資金を地域内に留め循環させることが持続可能な地域への第一歩だと考えている。そこで地域内にエネルギー資金を残すため、地域内に多数の発電所が必要となり、その大部分は太陽光発電で補うことが出来る。ここで太陽光発電設備を増やすだけでなくEVシェア利用を増やすことで、地域内で出来た電気日常的に利用する下地作りを行うと同時に、災害時には移動可能な蓄電池として復旧に時間がかかる山間部に移動させ電源として電力を供給することが出来るなどBCP対策も行うことが出来る。

事業の骨子		現時点で想定される課題・ボトルネック
①ありたい未来	エネルギーとそれに付随する資金が地域内で循環している地域	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備設置場所及びEV設置場所の選定 ・初期導入にかかる費用捻出 ・サービス利用者の獲得
②課題	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー資金の域外流出 ・一部地域の交通インフラ不足 ・山間部における災害時の電力対策 	
③なぜこの事業をやるのか（Why）	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー及びエネルギー資金の地域内循環を実現するため ・イターンやUターン者が移動の手段不足によって住む場所が制限されないようにするため ・災害時に停電等で困っている地域の助けになるため 	
④地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に存在する屋根・遊休地 ・地域に存在する企業・人 	
⑤商品・サービスの具体的な内容（What）	移動手段としての車が必要不可欠な地域特性を活用し、パークアンドライド形式のEVシェアを主な事業として、太陽光発電設備とセットで地域内各所に展開。サービス利用料と余った電力を地域内に販売することで投資回収を行う。企業での福利厚生の一環としても利用可能。	
⑥担い手（Who）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民 ・地域内に存在する企業 ・市役所 	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環	エネルギー資金の地域内循環及び再生可能エネルギーの地域内循環	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内に存在する自動車業者 ・地域内に存在する企業 ・市役所 ・金融機関
⑧事業で生じる成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交通インフラサービスの拡充 ・地域外に出て行った若者が戻って来やすい環境 ・災害時のBCP対策 	

事業名称 2 : 熱利用可能な分散型バイオマス発電事業		
あらすじ		
<ul style="list-style-type: none"> ・八女市の総面積（482.44km²）のうち65%を占める広大な森林 ・基幹産業の一つである農業の後継者不足とエネルギー原価の高騰 ・森林保全の担い手減少と林業の衰退 		
ストーリー		
<p>八女市は福岡県内で北九州市に次いで広い市であり、更にそのうちの65%を森林が占めているということで非常に自然豊かな環境であると同時に適切な森林保全が継続してなされる必要があるという課題を抱えている。しかし、林業従事者も年々減少しており持続的に森林を保全できる状態が維持できなくなる可能性を鑑みた時に分散型のバイオマス発電設備を利用すればその問題を解決する一助となるのではないかと考えた。バイオマス発電設備を分散型にすることでその地域地域で電力だけでなく熱の利用も可能となり、住宅や企業の熱源として利用も想定できると同時に農業従事者の課題の一つであるエネルギーコストの高騰という問題もこの熱利用で新たな可能性を開くことが出来る。この分散型バイオマスで利用する木質ペレットも域外に販売しているものを域内で利用することで地域内での資金循環も実現できると考えている。</p>		
事業の骨子		現時点で想定される課題・ボトルネック
①ありたい未来	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーとそれに付随する資金が地域内で循環している地域 ・地域内の基幹産業で新たな雇用が創出され続ける状態 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス発電設備の設置場所及び供給先の設定 ・建設にかかるコスト
②課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源及び地域資金の域外流出 ・基幹産業における担い手減少 	
③なぜこの事業をやるのか（Why）	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー及びエネルギー資金の地域内循環を実現するため ・分散型バイオマス発電設備で効率的に電力と熱エネルギーを地域に届ける仕組みを構築することで地域基幹産業の産業基盤を固めるとともに新たな可能性を見出すため 	
④地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内に存在する森林資源 ・地域内に存在する農業・林業家 	
⑤商品・サービスの具体的な内容（What）	分散型バイオマス発電設備を各所に設置しそこで出来た電力及び熱エネルギーを地域内に供給を行う。仮に電力が余るような場合は地域外に売電を行う。	
⑥担い手（Who）	<ul style="list-style-type: none"> ・森林組合 ・地域内の農業家（JA） ・地域内に存在する企業 	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環	エネルギー資金の地域内循環及び再生可能エネルギーの地域内循環	<ul style="list-style-type: none"> ・森林組合 ・JA八女 ・金融機関
⑧事業で生じる成果	<ul style="list-style-type: none"> ・森林組合の産業基盤強化及び森林保全体制強化 ・新たな雇用創出 ・農業家のエネルギーコスト削減並びに新たな農産物の産出 	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所 ・地域内に存在する企業